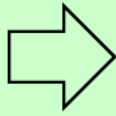


# GPSを活用した効率的な農業経営と規模拡大・6次産業化の取組 ～株式会社 小林農産～

## 経営体の概要

平成18年  
作物：水稻  
経営面積：25ha



平成28年  
作物等：水稻（主食用米、もち米、飼料用米）、小麦、ばれいしょ  
経営面積：205ha、もち加工：21 t /年(27年)



## 取組の経緯と経営転換のポイント等

事業による、ほ場整備やパイプライン化の実施、ブロックローテーションの定着の他、農地中間管理機構の活用等による農地集積、GPS付き田植え機等の導入による作業の効率化等の取組により規模拡大し、現在の経営面積は205ha(H28)となっている。また、将来、米価が下落した時に備え、餅加工・販売による6次産業化、野菜生産にも取組、経営の多角化を図っている。売上は年々増加している。

## 営農改善のポイント

### ①省力化・低コスト化の取組

メーカーとの共同開発で、3カ年延べ200haの走行試験の上、GPSガイダンス&自動操舵補助付きの田植え機とトラクターを製品化、25年度に導入した。作業時間短縮、作業ミス軽減、作業者の疲労軽減、コスト削減等、様々な面から農作業の効率化につながった。

youtube <https://www.youtube.com/watch?v=bQN1-bN6IKM> 等



### ②規模拡大・土地利用調整

ほ場整備、パイプライン化等により、作業効率の向上、用水の常時確保、作付可能な作物が増加し、規模拡大につながった。

農地中間管理機構を通じた農地集積、農業委員会等を通じた耕作者情報の取得や、農地貸借希望の新聞折り込み広告により、新たな農地の確保に取り組んでいる。また、農地の連担化も進めており、今後は、さらに規模拡大を図る意向を持っている。



### ③多様な販売ルート構築・6次産業化(餅加工)の取組

主に、主食用米はスーパー、特別栽培米及び飼料用米は商社に販売（飼料用米は商社を通じて実需者に出荷）、野菜は実需者との契約取引を行っている。

平成23年に六次産業化総合事業計画の認定を受け、餅加工施設を整備し、生餅等9種類を生産し、百貨店、スーパーや飲食店との直接取引、直売所での直売、ネット通販により販売している。

小林農産ホームページ <http://www.kobayashi-agri.co.jp/>



## 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
関係市町：三重県伊勢市、多気町、明和町、大台町、玉城町  
受益面積：4,681ha  
事業期間：平成7年～平成24年  
事業目的：用水改良、畑地かんがい  
主要工事：調整池1ヶ所、頭首工1ヶ所、導水路(改修)15.4km、幹線用水路等23.8km、水管理施設

## 位置図(三重県)



## <問い合わせ先>

東海農政局  
農村振興部農村環境課  
営農指導係  
電話：052-223-4631

(平成28年度調査時点)